

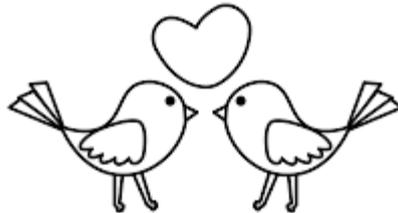
山梨県 桃の会

会報 第97号

親のよろこび

子供が勉強ができたり、仕事ができたり、  
地位や名誉や財産をもつこと  
親の期待通りに生きること  
それらは親にとって本当の喜びになるだろうか

人として内面の成熟がなされなければ  
とてもむなしなものになりはしないか・・・



生きることには喜びを感じ、周りにも喜びを与えながら  
自分を支えに生きることができるようになる  
そうなることが親の願いとなり 親の喜びでありたい

出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部  
HP <https://momonokai.org> e-mail [meri-sannokuni@softbank.ne.jp](mailto:meri-sannokuni@softbank.ne.jp)



## 守り育てたい

この活動を何を守るためにやっているか・・・問われれば親ではなくまず一番に子供たちを守りたいというのが本音である。親は子供たちを守る為に守っていかねばならない大事な存在であることも確かであるが親の向こう側にいる子供こそしっかり守られなくてはならない存在である。

親も苦しみ、悲しみ、悔しさ、不安をもっているが家族会や支援者に話し共感を得て自分を守っている。

しかし子供は姿を見せないし声を聞くこともない。自分の心の声を発信していないのである。自分の中で悶々と自分を抑圧している。食事が保障されて住む所もある、楽をしたいだけなのか・・・そんなはずはない、彼らの想いの奥底にはこの社会の中で生き生きと関わりたいという本音が潜んでいるはずである。

元々親は子供を守る存在である。守るというのは例え親にとって不都合なことが起こってもである。

不都合なことが起こった時こそその守り方が問われるように思う。親の心に自分の守りを優先したいと

言う想いがどこかにあるうちは子供は親を信頼できないし本音の会話はできない

本音の会話とは「確かに心が通じあった」という実感を伴うものである。

「なりふり構わず守る」という覚悟のようなものが必要ではないだろうか。

次世代にバトンを託せる社会になるために彼らをどのように守り育てていくのか、今問われているように思う。

## 自分の子供が今必要としているもの・・・\*\*\* 9月のミニグループトークから

何年も変わらない状態に変化をもたらすことは並大抵のことではありません。

しかし今やるべきことは必ずあると思っています。なぜこうなったかを悔やみ嘆き諦めて時間だけが過ぎて行く毎日に終止符を打ち、どのような小さなことでもいい、今やるべきこと、子供が必要としていることを今回は考えてみたいと思いました。皆さんからの意見を書き出してみます。

- ・親は過度な期待をしない
- ・親が元気で笑顔でいること
- ・本人の想いをしっかり聞く
- ・抱えているものを手放し行政や他者を頼る
- ・人を変えるのは難しいのでまず自分が変わる
- ・過去と未来のことは考えない
- ・信頼関係を根気よく積み上げていく
- ・お互いコミュニケーションがスムーズになること
- ・相手に要求せずに子供の想いを大切にする
- ・溜め込まずグチ吐きノートに書く
- ・親との距離を無理に縮めないで自分の想いを大事にして今は距離をもつ
- ・親以外にSOSを出せる第3者が必要

子供が必要とし今やるべきことは誰にでもあり、実行するか否かです。

実行にはエネルギーと決断を必要とします。



(ズッキーニ)

# 当事者 Voice

## \*9月当事者スペースの報告

9月18日(日) 13時~16時 甲府市総合市民会館会議室1

参加当事者・経験者(5名) 関係者(5名、経験者も) 桃の会関係者(1名)

スペースにおける内容

- ・グループトーク・最近の良かったこと・やってみたいこと・資格・書店・スマホの値段の説明
- ・参加された方から、ひきこもりの方を対象とした在宅ワークを支援するサービスの紹介



## \*\*世話人たちの感想(今回は2名)

台風が来ていたこともあり、参加人数は少なめでした。自分のタイミングで来たり来なかったりの判断が出来ているのかなと感じました。長く来られている方は、最初の雰囲気とは全然違って、色々な人と出会って少しずつ変わってきている様でした。

また私たちスタッフも含め、あまり状態の良くない方もいたので、無理をして精神がぎりぎりの状態

だと、ひきこもっている時と変わらなくなってしまうので、あまり無理をしてほしくないと感じました。

今回は東京の方も数名来られて、家にいても仕事出来る在宅ワークを紹介して頂きました。自室で出来るこういうのも、私は大いにありだなあと思いました。コロナの状況を受けて、現在は働き方も変わってきたので、出来る方はこういうので短時間からやっていくのもいいのではと感じました。

台風14号が九州に上陸しており、山梨も天気心配されましたが、雨も止んで当事者スペースも無事開催できたことは良かったです。東京からも参加者が来ることができました。

米長



## テーマトークの報告 9月10日(土) 13時~ 福祉プラザロビーにて

### \*\*テーマ『優劣を感じる時』参加人数:6名

いつもお世話になっております。桃の会スタッフの、たきざわです。今回のテーマ“優劣”について、色々な意見・考えを出し合えました。主に劣等感に関する話が多く出た印象でした。沢山のお話を聞いている中、それぞれに共通しているモノがあるのでは?と僕は考えましたそれは、参加者たちの話をしている姿を見ていると、孤独や孤立を感じるということです。こうした感情が、人知れず少しずつ大きくなり、自分を責めてしまうなどして、気づかぬ内に心に傷を作ってしまうのです…。

ある参加者は、「働いているか否か、資格があるか否かなどの優劣感に意味は無いと思う。

ただ、自分が出来ることや、やってみたいことなどで感じる優劣は、自分という人間を高めるキッカケになるのでは。。。」と、このようなことを言っていただきました。正直、この言葉に対して、僕はまだハッキリと理解できていないかもしれません。ただ確かなのは、これがとても重要で大切なことだということです。

.....\*\*



### \*\*\*桃の会・都留からの報告・・・9月12日(月)開催

今月は支援者の方が4名、当事者の親子さん2名の方々が参加して下さいました。今回も新しく当事者の親子さんが来て下さり(息子さんの事で悩んでいらっしゃる)その方は1月に初めて電話を下さり、その後何回か連絡をしてようやく今回足を運んで下さいました。

まだまだ時間がかかりますが続けて行く事に意義があると思いました。

野武



# 桃の会 10月の活動



10月はミニグループトーク、当事者スペース、テーマトーク、桃の会・都留を行います。

秋の訪れを感じる頃となり心なしか雑草の伸びも緩やかになってきたように思えます。

夏の暑さの疲れが出たり季節も変わってまいります。みなさま如何お過ごしでしょうか。台風の影響で九州や各地で大きな被害が相次ぎました。豪雨被害に遇われた方々にお見舞い申し上げたいと思います。

コロナ禍の方は減少傾向にありますが感染には注意を払いながら今月も開催したいと思います。

子供、きょうだいの現状に長い間変化が見られないと親も段々気持ちが萎えて悲観的になり先に希望が持てなくなってしまう。そういう時こそ冷静になって9月のテーマで話しあった「今できること」を考えてみてはどうでしょうか。会報2ページで前述した通りできることは必ずあるのです。話す、聴くはとてもシンプルなことで、同じことの繰り返しと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、プラスの循環に変えていってはどうでしょうか。自分の気付きの機会と捉えて是非ご参加をお待ちしております

▶ ミニグループトーク 10月16日(日) 10時～ 県立青少年センター第3会議室 一家族 ¥500

兄弟姉妹、親グループに分かれますテーマを決めてテーマに沿ってトークします **当事者無料**

▶ 当事者スペース 10月16日(日) 13時～ 県立青少年センター和室 **参加費無料**

▶ テーマトーク 10月8日(土) 13時～16時 福祉プラザロビー **参加費無料** **お申込み不要です**

『フリーテーマ』自由に話題を出し合う

▶ 桃の会・都留市 10月24日(月) 13:30～ いきいきプラザ都留3F研修室

\* \* コロナ感染防止のためマスクの着用のご協力をお願い致します



**お知らせ！… 兄弟姉妹が集まっています！！**

ミニグループトークの中で親グループとは別に兄弟姉妹グループをもうけています

きょうだいのことでお悩みの方、きょうだいとしてできること、できないことを話してみましよう。

少し気持ちが楽になります！

◆ 11月の予定 ミニグループトーク 11月20日(日) 10時～ 山梨県立青少年センター



当事者スペース 11月20日(日) 13時～ 山梨県立青少年センター

テーマトーク 未定

桃の会・都留 11月14日(月) いきいきプラザ都留 (変更する事があります)



**募集しています！！** 皆さんの声を募集しております！日々の想いやちょっとした出来事など大歓迎です。

どうぞお気軽に桃の会事務局のメールアドレスまたはFaxでお送りください。お待ちしております。

お問い合わせ 桃の会事務局 e-mail / meri-sannokuni@softbank.ne.jp Fax 0266-78-3742 篠原  
Tel 0551-47-4040 080-9400-4187 井口

桃の会・都留事務局 e-mail / hiroko.samasara@icloud.com 080-1282-2576 野武

